

■ 2019年度の取り組み結果

AI相乗りタクシー実証実験（有料）：2019年11月実験

2019年2月実験を踏まえ、エリア・サンプル数を拡大し、
 ルルカ会員を対象としたAI配車によるリアルタイム型オンデマンド相乗りタクシーの**有料**実証実験を実施。
『社会的に受け入れられるかどうかの検証』、『運行体制づくり』等を目的とした。

※実施主体：静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト

※ETC2.0データ活用による配車システムの精度向上を実施

※令和元年度の国土交通省「新モビリティサービス推進事業」および 経済産業省「新しいモビリティサービスの社会実装に取り組むパイロット地域」の支援事業・委託事業として実施



▲実験エリア（静岡市葵区一部エリア（約21km²））

期間：2019年11月1日（金）～11月30日（土）

対象：市民

運賃：有料（通常タクシーの75%程度の価格）

検証内容

- ・AI相乗りタクシーの実証運行
- ・鉄道・路線バス・タクシー等の異なる交通モード間の連携
- ・生活関連施設（商業施設等）と絡めた分析 etc…

分析方法

- ・AI相乗りタクシーの運行実績の集計，分析
- ・下記3群に対しアンケート調査を実施（ルルカモニター使用）
 - ①実証実験参加者（乗車あり）
 - ②実証実験参加者（乗車なし）
 - ③実証実験非参加者

■ 2019年度の取り組み結果

< 参加者・乗車実績 >

登録者数	利用者数	総移動数	相乗り移動数	相乗り発生率
456名	179名 (延315名)	315回	83回	26.3%

< KPIとの比較 >

評価指標 (結果/KPI)			
運賃の満足度	37%/60%以上	MaaSシステムの満足度	76%/60%以上
AI相乗りタクシー 継続利用意向	78%/60%以上	MaaSサービスの継続利用意向	78%/60%以上
自家用車からの転換以降	57%/60%以上	予約Webページに対する満足度	71%/60%以上

< その他 >

- AI配車によるリアルタイム型オンデマンド相乗りタクシーが「社会的に受け入れられるか」について
⇒ KPIの「AI相乗りタクシー継続利用意向」、「MaaSサービスの継続利用意向」は高い結果となったが、料金設定やサービス内容等については継続的に検証を行う予定。

- 「運行体制づくり」について
⇒ 市内タクシー事業者9社（個人タクシー2社含む）の協力を得て実施することができ、運用面等の課題を議論することができた。今後も継続的な意見交換、検証を行う予定。

